



# 野ばら

ひたちなか市立佐野中学校

令和3年11月12日 第7号

## 「創立75年の合唱コンクールと振り返り」

学校長

学校のイチョウも秋を感じさせる彩りとなり、学校も平常を取り戻し、落ち着いた生活の中で授業が進められています。11月6日(土)には「どこまでも響け 青春の歌声 ～ 史上最響のハーモニー ～」のローグのもと、無事、合唱コンクールを終えることができました。学校とは、生徒自身がつくる場所、その包まれた雰囲気こそが本校の文化なのです。時代の流れは早く進み時は待っていませんが、新しくなることだけが歴史ではなく、「変わらないこと」もまた佐野中の中で大切なことです。今回のローグが感じられるような歌をつくりあげ、全生徒が各学年一つとなり、学年ごとのコンクールとして発表を作り上げてくれました。保護者の方々も息をのむほどの場面も見られ「心で歌う」大合唱となったことを嬉しく思います。

最後に合唱コンクールを終えて、各クラスの一人一人が協力し合って、役割と責任を果たすことができたでしょうか。集団の中で互いに尊重し合い、そのローグを着実に実現し、他から尊敬される、そんな集団をつくっていくためには、どうしていけばよいのでしょうか。もう一度あの時の感動を思い出し「クラスの団結」と「最後まで諦めずにやり続ける」ことの大切さを振り返ってほしいと思います。



### 第1学年

金賞 1組

「未来へのステップ」

銀賞 6組

「明日へ」

銅賞 2組

「COSMOS」



### 第2学年

金賞 1組

「ほらね、」

銀賞 7組

「心の瞳」

銅賞 6組

「ふるさと」



### 第3学年

金賞 1組

「信じる」

銀賞 4組

「ヒカリ」

銅賞 3組

「親知らず子知らず」

## 学年レクリエーション（10月21日）

体育祭の代替行事として、学年レクリエーションが実施され、各学年、大縄跳びと全員リレーが行われました。みんなで一つの目標に向かって取り組んだ成果が、笑顔に表れました。



（第1学年の様子）



（第2学年の様子）



（第3学年の様子）

「雲ひとつない青空」とはこの日の代名詞と言わんばかりの快晴に恵まれ、体育祭中止の悔しさを晴らすには十分の一日でした。

短い期間でしたが、各クラスとも作戦を立て練習をして臨みました。

結果はそれぞれ。でも確実に「今日」の思い出は皆の心に刻まれました。

## 『生徒会役員』が新しく決まりました



（会長）	2の3
（副会長）	2の4
（書記）	2の1
（会計）	2の5
（会計）	2の2
（副会長）	1の6
（書記）	1の4
（役員）	1の6
（役員）	1の2

### 【交通安全のお願い】

前号でお伝えしたとおり、下校の時間帯が**かなり暗く**なりました。自転車通学の生徒は、ライトの**点灯確認**（各自の自転車点検）をお願いします。徒歩通学者は、**懐中電灯**を準備する生徒が増えてきました。足元を照らすことができ、安全な下校が確保できますので、ご検討ください。